

# 山形大学附属学校園だより

# 六 稜

2017.3.13  
【発行】  
山形大学附属学校園  
【印刷】  
坂部印刷株式会社



「ハートバザー」幼 特交流 (11月)

### 保護者の皆様へ

山形大学附属学校園PTAの皆様におかれましては、日頃より附属学校園の運営に對して、多大なるご支援をいただきありがとうございますとさせていただきます。

本学の附属学校園は、大学附属の学校園として、担当理事のもと附属学校園運営部を設置し、四校園一体的に運営されております。

ご承知の通り、附属学校園は、従前より、地域のモデル校として、地域の教育を支える重要な役割を果たしております。公開研究会による最先端の授業開発の成果の共有などを通じて、地域における教育の質の向上を先導する役割を担っております。私も時間が許す限り公開研究会などにも足を運ぶよう努めておりますが、先生方の熱意溢れる指導と生徒たちの見事な応答に感銘を受けます。

大学附属の利点を最大限に生かして、幼稚園児の大学訪問なども試行的に始めました。またグローバル化の進展著しい我が国の未来の教育を先取りすべく、早い段階からの英語学習の機会を設けるなど、新しい時代の要請に応えるべく努力しています。

その意味では、附属学校園は大学にとっても大きな財産であり、誇るべき地域の宝であります。少子高齢化の進む県内にあって、初等中等教育を取り巻く環境は厳しさを増しております。しかしながら、その中にあって、キラリと光る存在を持つ附属の役割はますます大きくなるものと確信しております。保護者の皆様には、今後とも変わらずご支援を賜りますようお願いいたします。



山形大学理事  
阿部 宏 慈

### 運営部長退任にあたって

附属学校園のPTAの皆様には、日頃より、ご支援とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

平成二十八年度は、第三期中期目標・中期計画のスタートの年であり、より充実発展した将来に向かって見直しや改善を考え、一歩踏み出す時でした。

附属学校園の最大の特色は、「大学との教育実践研究の連携」「四附の教職員相互・子どもたち相互の連携」「県や地域との連携」「同窓の方々や保護者の方々との連携」が組織的にできる点と考えます。そしてその成果は、附属で学ぶ子どもたちの教育と教師教育に反映されるだけでなく、先進的な取組みを発信する地域のモデル校・拠点校として、地域の教育に寄与し、還元されていきます。

今後この特色を大切に、伝統を繋いでほしいと思っております。

私は、副部長を含めて三年間運営部でお世話になりました。各学校園の様々な活動場面を通して、附属の素晴らしさと、子どもたちの成長を実感しながらの日々でした。三十九年の大学教員生活の中で、最も忙しく豊かで貴重な時間を過ごさせて頂き、感謝申し上げます。

最後に附属学校園の益々のご発展を心よりお祈り致します。



附属学校園運営部長  
河合 康 則

### 附属中学校

今年度の新生より少人数学級編成(1学級34名×4)となり、全校生徒448名でスタートしました。生徒会スローガンである「K I Z U K U」のもと、生徒一人ひとりが様々なことに「気づく」ことによって、附属中を「築く」ことを大切に活動を行っています。5月には70回目の開校記念式が行われました。6月の市中総体では、団体2種目、個人種目11名が県大会出場を果たしました。また、読書活動を推進する本校の生徒会活動、国語科の取り組みがテレビ番組でも取り上げられました。これからも附属中の良き伝統を引き継いでいくとともに、より良い姿を探究し続けていきたいと思っております。

研究テーマ「対話をみがき、実践力を高める授業のあり方」

主な行事と日程

4月28日	PTA総会、歓送迎会
5月11日	開校記念式
5月26・27日	公開研究会
6月18・19日	市中総体
7月8日	大運動会
9月3日	PTA親善球技大会
9月24・25日	市中新人大会
11月7日	合唱コンクール

### 附属特別支援学校

児童生徒会が中心になり、「明るいスマイルみんなであいさつ」のテーマで今年度もあいさつ運動に取り組みました。家庭でのあいさつにもつながるように、各家庭でもポスターを掲示しました。あいさつ運動は児童生徒の生活において少しずつ広がってきています。また、児童生徒会では、ペットボトルのキャップの回収に取り組みました。各家庭、附属小学校の協力を得て集まった4万個を超えるキャップは、世界の子どもたちがワクチンを購入するために役立てます。

地域での活動としては、新たに、高等部で、地域の畑をかりて作物を作ったり、明正高校の生徒と一緒に奉仕活動としてゴミ拾いを行ったりしました。地域とのかかわりも少しずつ広がってきています。

研究テーマ「一人一人が生き生きと活動する姿を求めて」

主な行事と日程

4月29日	PTA総会
5月10日	創立記念式
5月21日	ふれあい運動会
10月22日	PTA親子レクリエーション
11月18日	公開研究会
1月28日	ふれあい祭

### 編集後記

山形大学附属学校園だより「六稜」第9号をお届けします。

今年度は、リオデジャネイロでオリンピックが行われました。アスリートの活躍に感動しました。また、チーム競技においては、日本人の技術のすばらしさを感じました。来たる2020年東京オリンピックに期待が膨らみます。

附属学校園では、10月20日、21日に全国国立大学附属学校連盟東北地区研究会集会在山形大学附属学校園とかがみのやま温泉月岡ホテルを会場に行われました。4校園がチームとして協力し運営しました。約160名の参加者により活発な協議が行われました。

今後、子どもたちの成長を支え、附属学校園の地域における役割を果たしていくために、4校園がチームとなり、教職員、保護者が力を合わせていきたいと思っております。

最後に山形大学、附属学校園運営部、学校園の先生方、保護者の皆様にご心より感謝を申し上げます。

編集委員  
佐藤美穂、豊原由香(幼) 大谷浩一、山崎秀夫(小) 安日明子、松本千草(中) 石山恵美子、佐藤明子(特)

### 附属幼稚園

今年度は、夏季から外壁改修工事が行われ、園舎・屋根・遊戯室の外壁が爽やかに一新しました。

また、プレハブ図書室の老朽化を受け、園内の保育室を有効活用して「ブックアトリエ さくらんぼ」を作りました。大量の本の移動作業や楽しい絵本環境づくりを、子ども達とPTA図書部の協力により行いました。

言葉を育む研究につながる、絵本に親しみ、造形活動や幅広い表現につながる、子ども達が大好きな空間になりました。

研究テーマ「幼児期に育てたい言葉」

主な行事と日程

4月25日	PTA総会
5月7日	親子園外保育
5月20日	PTA懇親会
6月8日	公開研究会
6月27日	創立記念式
9月17日	運動会(PTA協力)
11月4日	ふよふの集い (山形大学教職大学院 佐藤節子先生講演)
11月19日	ふよう父のひろば(父親研修会)
1月18日	雑煮会食(PTA協力)
2月3日	PTAだより「園じよい」発行

### 附属小学校

校舎の耐震化改修工事も全て終え、子どもたちは4月当初からリニューアルした明るい校舎で、元気に学校生活を送っています。

開校記念式後のチャレンジ記録会では、一人ひとりが自己新めざして全力で走りました。研究では、3年ぶりに春の公開研を6月に開催し、研究成果を県内外へ発信しました。また、11月の秋の協議会では、各教科・領域毎に数名の実践者・行政関係者をお招きし、研究についてじっくりと協議を重ねました。

子どもたちは、「さわやかで元気なあいさつ」「話は目と耳と心で聴く」「小さな社会人として地域のお手本になる」「一日一善」の4つの誓いを合言葉に、日々がんばっています。私たちも、今まで以上に一人ひとりを大切にしたい教育を、続けていきたいと思っております。

研究テーマ「学び続ける子どもの育成」

主な行事と日程

4月22日	PTA総会、歓送迎会
5月20日	開校記念式・チャレンジ記録会
6月16・17日	学習指導研究協議会
9月10日	みのりスポーツフェスティバル
11月10日	教科・領域等研究協議会
11月26日	PTAレクリエーション大会
2月24日	6年生を送る会



サッカー教室(特PTA)



PTA球技大会(中PTA)

今年度も各部長を中心に、三つの専門部の活動と懇親会が行われ、教職員と保護者同士のつながりができました。また今年度からPTAだよりに「すまいる」と名前をつけ、子供達が笑顔あふれる学校生活を送れることを願いました。

PTAでは、特に我が子の進路を重視した活動が行われました。教職員の研修に保護者も参加し、事業所の方から学校在学中に身につけておくべきことなどの話を聞きました。また、企画研修部では、進路担当の先生からキャリア教育の話、卒業した保護者の方から、子育てや事業所を決めるまでの流れなどを聞きました。また実際に事業所を見学し、我が子の将来について考えるきっかけとなりました。文化部では出羽園の方を講師に招き「お正月飾り」の製作、保健部では、親子レクリエーションでモンテディオ山形のコーチを講師に迎えて「サッカー教室」を行い、交流を深めました。

我が子も学校生活残り一年となり、基本的な生活習慣を見直すと共に、学校と家庭で連携し、「繰り返し」「粘り強く」支援していくことの大切さも実感しているところです。今後ともPTA活動へのご協力を宜しくお願い致します。

附属特別支援学校PTA会長 山口 由美子

PTA活動報告

PTA活動とは、親と先生方が、子どもたちのために手を取り合って支えていく活動です。子どもたちも中学生となると、自ら考え、実践していきます。附属中学校のPTAでは、子どもたちの自立性を考慮し、4つの専門部と母親委員会で構成されています。総務部は、歓迎会や学年単位の懇親会の運営。体育部は運動会への協力、PTA親善球技大会の運営、山形市PTA球技大会の参加。施設厚生部は学校全般の環境整備。広報部は「附中だより」の発行。母親委員会は、各研修会の運営・参加、制服バザーの開催などの活動を行っています。

附属のPTAは県市PTA連合会へ属しつつ、全国国立大学附属学校PTA連合会へも属しています。子どもたちを取り巻く環境は、速いスピードで多様化、複雑化する中で、我々親も、協調性、柔軟性、実行力が求められます。

私たちPTAは、子どもたちの健やかな成長と、たくさんの方のよい思い出ができることを願い、先生方と手を携えて、子どもたちを支えながら、一緒に「あゆみ」すすんでいきたいと思っております。

附属中学校PTA会長 三浦 広人

PTAのつながり



保護者奉仕作業(小PTA)



園庭整備(幼PTA)

PTA活動

附属幼稚園PTA活動「報告」

附属幼稚園PTA会長 菅野 大輔

今年度から活動内容を見直し、PTA年間行事の精選や、一つ一つの活動の中身を充実するという事に重きを置き、学級委員長会、行事部、広報部、図書部の四つの専門部で活動して参りました。これまでの園庭整備等は継続して行う一方、外部の方にもご協力頂き、実りの多い活動となりました。

九月に開催しました運動会では、「親子ふれあい」「食育」「体づくり」「地域の連携」をテーマに設定し、JA全農山形のご協力のもと、「おこめんジャー」のキャラクターが運動会のプログラムに参加するという今までにない楽しい企画を園と協力して行いました。また十一月には、「山形イグメン共和国」の外部講師を迎えて父親同士の勉強会を行いました。父親同士が子育ての苦労や悩みを共有し、仕事と生活の調和をどう図るか、活発な話し合いができ、子育てを共に考える貴重な機会になりました。

このような充実した活動を行う事ができましたのも、先生方・保護者の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

時代の変化に対応しながら、子ども達の健やかな成長の為に、今後とも園と一緒にPTA活動を進めて参りたいと思っております。

PTA活動について

附属小学校PTA会長 吉岡 裕志

平素よりPTA活動へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本校のPTA組織は、総務部、保健部、広報部、研修部、安全部、母親委員会からなり、年間の活動計画を策定し評議委員会にて協議し、総会での承認のもと、一人一役の全員参加型PTA活動に取り組んでいます。

総務部は歓迎会の運営、保健部は内外スポーツ関係行事の運営、広報部は附小便り編集発行、研修部は父兄対象の研修会、安全部は登下校時の交通指導、母親委員会は年一回の研修会など、全ての委員会運営に保護者の皆さまより携わって頂いております。

保健部主催で行われる年一回の学年PTA対抗レクリエーションでは、毎年ソフトバレーボール大会を開催しておりますが、年を重ねるごとに保護者と教師間の強い結束力を感じる事ができます。そんな活動を通してながら、保護者教師一同が皆同じ方向を見据え、子ども達を見守り育んでいきたいと考えています。

これからも、全学年保護者と先生方の繋がりを大切に、子どもと共に歩んで参ります。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



いっしょに給食(小・特)



合同音楽(中・特)



第23回全国特別支援学校文化祭出展作品  
附特高等部1年 相良健  
「緑の葉がいっぱいになっている  
ポロポロむけている木」(写真)



合唱交流会(小・中)



中学校保育実習(幼・中)

交流学习の様子